

備前市事務事業評価シート

事業の概要		平成元年度～		根拠法令・規程等	備前市補助金等交付規則
事業開始年度				問	担当課(室)
総合計画	大項目	基本構想	01	重点政策「教育」	生涯学習課生涯学習係
計画	中項目	基本計画	01	将来を担う人材が育つまち	係長 浅野隆之
	小項目	施策	01	家庭教育の支援と青少年教育の充実	電話 64-1841
事務事業名		03 青少年活動支援事業		このシート作成に要した時間	1.0 時間

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	備前市在住・在勤で35歳以下の青少年及び団体の指導者	
目的(何のために)	FOS少年団に補助金を交付し、その活動を支援することにより、ボランティア活動や市の行う事業への協力など、地域社会への寄与を目的とする。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	少年期の貴重なボランティア体験を行えるFOS少年団の活動継続と、地域社会への積極的参画・参加による地域の活性化を図る。	

事業の実績		Do	
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	備前市FOS少年団補助事業	市内の青少年が野外交歓大会や奉仕活動等を通じて、「友情・秩序・奉仕」の精神を養うとともに、心豊かでたくましい子どもの育成を図ることを目的とした各種事業を行う備前市内のFOS少年団に対し、予算の範囲内において補助金を交付する。	◎

決算額	事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
	事業費	必要人員	人	443	443	275
	事業費	必要人員	人	0.33人	2,675	0.14人
	事業費	必要人員	人	1,191	0.20人	1,461
	事業費	必要人員	人	3,118	1,634	1,736
財源	国	支出金	千円			
	受	益者負担				
	繰	入金				
	市	債				
	その他()					
一	般財源		3,118	1,634	1,736	
受	益者負担	率	%	-	-	-

結果指標	結果指標名	単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
	FOS団員数	人	106	107	112
	対前年比	%	-	100.9%	104.7%
	活動コスト	円	2,950,000	1,514,000	1,736,000
	単位当たりコスト		27,830	14,150	15,500

事業の成果		平成25年度事業				
FOS団員数	成果指標名	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値
	目	標値(A)	150	140	130	130
	実	績値(B)	106	107	112	到達目標値
	達成率(B/A)		70.67%	76.43%	86.15%	130
成果指標設定の考え方・式や説明						
日生・吉永FOS団員数。少子化の影響もあり減少傾向が続いているが、会員数の維持に努めたい。						

事務事業の評価		Check	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている	妥当性評価 ABCDE 高や普通や低い や通やいい 高い低い
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い <input checked="" type="checkbox"/> 単当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託合)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 ABCDE 高や普通や低い や通やいい 高い低い
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNP0、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 ABCDE 高や普通や低い や通やいい 高い低い
有効性の評価	目的達成度		C

進行年度(H26年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止
		○				
説明	少子化の影響もあり、徐々に会員の減少傾向が続いているが、心豊かでたくましい子どもの育成のために必要な団体・活動であり、引き続き支援していく。					

総合評価		総合評価	C
FOS少年団は、上部団体である備前地区FOS少年団連盟および岡山県FOS少年団連盟でも団員数、リーダー数の減少傾向が続いており、指導者養成と活動の充実、積極的な広報活動を図っている。少年期における体験活動やボランティア参加など、子どもたちの育成に対する貢献度は高いものがあり、引き続き支援が必要な団体である。			

平成27年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止
		○				
取組目標	心豊かでたくましい子どもたちを育成するため、FOS少年団の活動について、指導者養成や広報活動などを地域公民館の支援により進めていく。					

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担率、単当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標がある成果指標に留意しな